学校番号	3015

令和４年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現	3	第３学年	英文法・語法問題８００（いいずな書店）、英文法・語法問題８００Handbook（いいずな書店）、英文法・語法問題「Bright STAGE 英文法・語法問題」（桐原書店）Focus on Listening Standard （EMILE 出版）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語表現の授業では主に文法とリスニングを中心に学習していきます。入試頻出問題を解き、入試攻略に必要な基礎力と実践力を同時に養成していきます。英文法・語法スタディポイントも使いながら、整理して覚え、繰り返し学習し、着実に英語力をつけていきましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「英語表現」（３単位）・「英語理解」（３単位）・「英会話」（２単位）
・「アカデミック・イングリッシュ」（３単位）・「ACTⅢ」（２単位）
主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
◆自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 ◆◇身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。	英語理解 英語表現 英会話 ACT Ⅲ	◆身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ◆慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。	英語理解 英語表現 ACT Ⅲ	◇自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスを聞いて、大切なポイントをもらさず概要を把握することができる。 ◇はっきりと話されれば、身近なトピックについての短いニュースの要点を聞き取ることができる。	英語理解 英会話 ACT Ⅲ アカデミック・イングリッシュ	◇◆小説などを読み、背景を踏まえ事実関係だけではなく、登場人物の気持ちなどを把握し、気持ちに応じて適切な速度や声の調子で音読することができる。 ◇やさしい英語で書かれた物語を読み切り、全体の筋を理解することができる。	英語理解 ACT Ⅲ アカデミック・イングリッシュ

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価規準	①うまく表現できないことがあっても、既知の語句や本文中の表現を用いるなどして話している。 ②理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして、読み続けている。 ③読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。	①与えられた条件に合わせて、即興で話している。 ②伝えたい内容を整理して論理的に話している。 ③主題を決め、様々な種類の文章を書いている。	①語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。 ②聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、結論をまとめている。	①英語の仕組み，使われていることばの意味や働きなどを理解するとともに，言語の背景にある文化を理解している。
実施方法	(a) 授業中の発言・貢献度などを総合的に評価 (b) ペアワーク及びグループワーク (c) 提出物	(a)授業内発言の取り組み（観察） (b)英作文添削（原稿提出） (c) １～２分間スピーチ	(a)授業内発言の取り組み（観察） (b)ボキャブラリーテスト（小テスト） (c)定期考査 (d)ペアワークやグループワークなどにおける理解度 (e) １～２分間スピーチにおける理解度	(a)定期考査 (b)各アクティビティ後の自己内省
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
1-2 章 (5 時間)	時制・受動態	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話や再話の際に、基本時制、受動態の表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	②	(a) (b)
		「英語表現の能力」			
		・時制、受動態の表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・時制、受動態の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・時制、受動態の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・日本語と英語の時制の違いを理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・基本時制、態の違いを理解することができる。	・日本語と英語の時制の違いや受動態の働き方を学ぶ。	①	(a) (b)
3-5 章 (5 時間)	助動詞・仮定法・不定詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話や再話の際に、助動詞、仮定法、不定詞の表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・助動詞、仮定法、不定詞の表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・助動詞、仮定法、不定詞の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・助動詞、仮定法、不定詞の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・助動詞、仮定法、不定詞の用法を理解する。 ・ポイント例文のデ	① ②	(a) (b) (c) (d)

			ィクテーション。		(e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞、仮定法、不定詞の用法を理解することができる。	・助動詞、仮定法、不定詞の用法を学ぶ。	①	(a) (b)

11 章 (4 時間)	比較	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・比較の用法を理解し、その表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・比較構文の表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・比較構文の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・比較構文の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・比較構文の用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較構文の用法を理解することができる。	・比較構文の表現を学ぶ。	①	(a) (b)
21 章 (4 時間)	副詞の語法・イディオム	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・副詞を含んだイディオムの表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・副詞を含んだイディオムの表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・副詞を含んだイディオムの表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・副詞を含んだイディオムの表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・副詞を含んだイディオムの用法を理	① ②	(a) (b)

			解する。 ・ポイント例文のディクテーション。		(c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・副詞を含んだイディオムを復習し、それらの用法を理解することができる。	・副詞を含んだイディオムの表現を学ぶ。	①	(a) (b)
15・16 章 (4 時間)	代名詞・名詞イディオム等	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・代名詞や名詞を含んだイディオムの表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・代名詞や名詞を含んだイディオムの表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・代名詞や名詞を含んだイディオムの表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・代名詞や名詞を含んだイディオムの表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・代名詞や名詞を含んだイディオムの用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・代名詞や名詞を含んだイディオムを復習し、それらの用法を理解することができる。	・代名詞や名詞を含んだイディオムの表現を学ぶ。	①	(a) (b)
12･17 章 (5 時間)	主語と述語動詞の一致・疑問文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・動詞の用法を再確認した上で、疑問文の表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・動詞の用法を再確認した上で、疑問文の表現を使って英文を書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・動詞の用法を再確認した上で、疑問文の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・動詞の用法を再確認した上で、疑問文の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを	・動詞の用法を再確	①	(a)

		理解する。	認した上で、疑問文の用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	②	(b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動詞の用法を再確認した上で、疑問文を含む英文の用法を理解することができる。	・動詞の用法を再確認した上で、疑問文の表現を学ぶ。	①	(a) (b)
13・22 章 (5 時間)	否定・倒置・省略・強調・会話表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・否定の表現を用いて話そうとする。	・ペアワークやグループワークを行いながら、問題を解く。その際、積極的にコミュニケーションを取るようにする。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語表現の能力」			
		・否定の意味を含む英文や強調、倒置、省略構文の用法を使って書き、話すことができる。	・例文を理解し、暗唱する。 ・否定の意味を含む英文や強調、倒置、省略構文の表現を用いて、１～２分間スピーチを行う。 ・否定の意味を含む英文や強調、倒置、省略構文の表現を用いて、５行以上の英文を書く。	① ② ③	(a) (b) (c)
		「英語理解の能力」			
		・他人のスピーチを理解する。	・否定の意味を含む英文や強調、倒置、省略構文の用法を理解する。 ・ポイント例文のディクテーション。	① ②	(a) (b) (c) (d) (e)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・否定の意味を含む英文や強調、倒置、省略構文の用法を理解することができる。	・否定の意味を含む英文や強調、倒置、省略構文の表現を学ぶ。	①	(a) (b)